

【調査研究報告】

豊中市の子どもの学びと育ちに関する 総合的な調査研究

- 第1章 豊中市の子どもの学びと育ちに関する
総合的な調査研究 総論
- 第2章 全国学力・学習状況調査データの
概要・分析方針
- 第3章 全国学力・学習状況調査データの分析 (1)
家庭の社会経済的背景と学力等の関連
- 第4章 全国学力・学習状況調査データの分析 (2)
不利を克服する学校
- 第5章 全国学力・学習状況調査データの分析 (3)
不利を克服する児童生徒
- 第6章 子どもパネルデータの概要・分析方針
- 第7章 子どもパネルデータの分析 (1)
学力
- 第8章 子どもパネルデータの分析 (2)
非認知能力
- 第9章 子どもパネルデータの分析 (3)
健康
- 第10章 子どもパネルデータの分析 (4)
就学前の子どもの健康
- 資 料 児童生徒・保護者アンケート調査票

とよなか都市創造研究所では、市の持続的な発展と計画的な市政の推進に資するため、市を取り巻く社会経済環境の変動を見据えながら、中長期的視点に立った都市政策に関する調査研究を実施している。

令和5年度（2023年度）から令和7年度（2025年度）にかけての調査研究事業は、「豊中市の子どもの学びと育ちに関する総合的な調査研究」として、豊中市のすべての子どもの可能性・チャンスの最大化に向けたプロジェクトに取り組む計画となっている。今年度はその初年度にあたる。

第1章では、今回のプロジェクト全体の概要や分析方針について整理している。

第2章から第5章にかけては、全国学力・学習状況調査のデータについての分析結果などを報告している。

第6章から第10章にかけては、市内のさまざまな部署が所管するデータと、児童生徒と保護者を対象に実施した独自アンケートのデータを個人単位で接合した、子どもパネルデータの分析結果などをまとめている。

プロジェクトの1年目にあたる本年度は、市内外の体制構築やデータの収集・構築などを進めプロジェクトの基盤をつくとともに、データからわかる基礎的な分析を実施した。今回の報告結果をふまえつつ、次年度以降、より発展的な分析を進めることにしたい。